

# パモジャ PAMOJA



第32号  
青年海外協力隊 巢守 世那  
2026年 5月25日発行



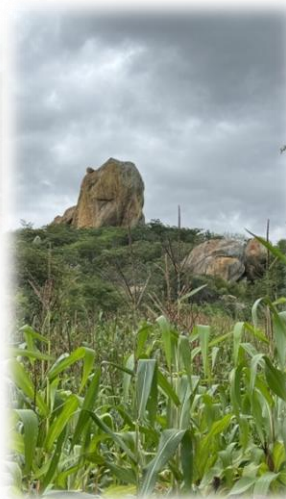
アフリカツノメロンを発見!外側はとげとげしていて痛いです。中はゼリー状で緑色の果肉と種がたくさん入っていました。これは、まだ熟していないこともあって、(タンザニア人はこの状態で食べるよ!と言われました)酸っぱくて言葉に言い表すのが難しい味でした。

## タンザニア旅行記～イリンガ編～

### Hamjambo?

今回は、イリンガについて紹介したいと思います。イリンガもタンザニアの南西部に位置しており高原都市なので、涼しいです。バガモヨに比べると少し乾燥していました。(バガモヨからバスで12時間くらいの距離です。)ムベヤとは異なり、山や町の中にも、ごっごつした大きな岩がたくさんあり、岩の上にも家が建てられていました。また、イリンガの人々は、穏やかな人が多く落ち着いて過ごすことができました。

食べ物でいうと、イリンガは豚肉が有名な地域です。涼しい気候が豚肉の飼育に適していることや、トウモロコシなどの飼料が豊富なことが理由です。また、キリスト教徒が多いことも関係しています。バガモヨにはイスラム教の方が多いので、豚肉を食べることがほとんどありません。(イスラム教では豚肉を食べることが禁止されているため)そのため、街のあちこちで豚肉が普通に売られていてびっくりしました。久しぶりの豚肉料理はおいしかったです。タンザニアの中でも、地域によって食文化が違うのが面白いなと旅行をするたびに思います。



タンザニアの豚肉料理は、ほとんどが揚げたものか焼いたものです。ピーマンとニンジンと一緒にトマトソースで炒めたものと一緒に食べることもあります。豚肉、牛肉どちらも、日本のように薄く切ったお肉はないので、焼き肉やしゃぶしゃぶ、すきやきが恋しくなります。

バス移動は大変ですが、モロゴロからイリンガに向かうときには、国立公園の中を通るので、バスの中から野生のキリンやゾウ、シマウマ、インパラを見ることができます。車がビュンビュン走っているのに、横には動物たちがのんびりと過ごしていてなんだか不思議な気持ちになりました。

